

第6回（仮称）都市のグランドデザイン有識者委員会

議事概要

日 時	平成 29 年 11 月 13 日(月) 午後 6 時 30 分～8 時 30 分
場 所	練馬区役所本庁舎 19 階 1902 会議室
次 第	1 開会 2 報告 (1) 前回の議事内容について 3 議題 (1) 検討報告書のまとめについて (2) 今後の（仮称）都市のグランドデザイン有識者委員会について 4 その他 5 閉会
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・第5回（仮称）都市のグランドデザイン有識者委員会議事概要まとめ ・資料1 （仮称）都市のグランドデザイン有識者委員会報告書【概要版】 ・資料2 （仮称）都市のグランドデザイン有識者委員会検討報告書（案）
出席委員 名簿記載順 ・敬称略	今井 伸、久保田 尚、小泉 秀樹、瀬田 史彦、 只腰 憲久、村木 美貴、横田 樹広、井口 薫、 佐藤 公明、山本 勝一
欠席委員 敬称略	なし
区出席者	副区長 黒田 叔孝 副区長 山内 隆夫 参与 斉藤 親 技監（都市整備部長） 宮下 泰昌 企画部長 佐々木 克己 〔事務局〕 企画部参事（企画部企画課長） 佐古田 充宏 都市整備部都市計画課長 吉田 哲

1 報告事項

【委員長】

報告について、事務局から説明をお願いします。

【都市計画課長】

議事概要まとめ 説明

2 議題

(1) 検討報告書のまとめについて

【都市計画課長】

資料1、資料2 説明

【委員長】

報告書案の第2章の本文は、委員の発言が箇条書きで記載されていますが、これでは、まちの将来像を検討するうえでの視点とはならないと思います。このような書き方だと、何が書いてあるのかがはっきりとわからないので小見出し等、体系化をした方が良いでしょう。

【都市計画課長】

委員長のご指摘のとおり、例えば9ページの記載などは整理する必要があると認識しています。

【委員長】

整理の仕方ですが、この報告書は委員会としての報告書なので、記録的な意味で各委員の発言をまとめるのであれば、最後に付録的に資料とすれば良いでしょう。

第2章というのは、第1章で課題を整理して、第3章の目指す都市像につなぐプロセスとしての意味を持たせなくてはならないので、今の整理の仕方では非常に分かりにくいと思います。

【委員】

各委員の発言をベースとして、都市の将来像を検討する重要な 이슈をしっかりと第2章の部分で押さえておくことが必要です。第1章が練馬区の現状と課題だとすれば、30年後、40年後を考えたときに、どのようなまちづくりの視点が重要なのかということ、各委員のプレゼンテーションおよび委員会での議論を踏まえて項目出しをして、整理をしていただければ良いでしょう。

【委員長】

繰り返しになりますが、第1章で挙げた課題が、第3章で示される将来像としてまとまる、そのプロセスとして、第2章は検討するうえでの視点を並べたという位置づけでなくてはなりません。第3章の導入部になるように、わかりやすくまとめてください。各委員の発言内容を紹介する必要があるのであれば、最後に委員会での議論の内容として、整理していただきたいと思います。そのような方向性で第1～2章は整理をし、第3～4章の議論に入りたいと思います。

【委員】

都市構造のイメージが、構造的な都市の将来図という意味で、重要な図になると思いますが、この図が読み取りにくいと感じています。特にみどりに関しては、5年間に1%以上減少していくという中で、よりネットワークを強化し、しっかりした拠点や軸を作るといふ、将来像としてのビジョンが表現されないと、結局、細分化されていくイメージに見えてしまう印象があります。都市構造のイメージや、あるいは個別のイメージごとの図は、もう少し将来に向けた骨格が見えるような図示の仕方を検討した方が良いのではないのでしょうか。

【委員長】

具体的にはどのあたりですか。

【委員】

13ページの都市構造イメージ図であるとか、14、15、16、17ページの図面は、現状の延長線としての図だと思いますが、特にみどりに関しては、もう少し、骨格や拠点地域、軸が見えるような表現が必要だと思います。

【委員】

15ページの図は17ページにあるべきだと思います。これがみどりのネットワーク構造、水系と主な幹線道路、生産緑地と大規模な公園を示していて、このうち新しく幹線道路の整備でみどりのネットワークを作るところがあるので、既にあるものと、新しくこれから作るものを分けてもいいのかもしれないと思います。

14ページの生産緑地の図には、重点的に残すようなエリアが示されているので、そういうところを15ページの図にも少し加味して、17ページに載せれば良いのではないかと思います。19ページのイメージ4に、グリーンインフラについての記述がありますが、中身としてもたぶんそちらに対応していて、イメージ2のところあまりそういう話は出てきていません。イメージ2はどちらかというと公共空間をどう使うとか、その沿道の建築的な対応をどうするかということが中心であり、みどりはなく、幹線道路をどう活用して、良いまちを作るかという話になるので、絵柄としてはこれはいらぬかもしれ

ません。

【委員長】

事務局から何かコメントはありますか。

【都市計画課長】

ご指摘に沿った形で整理をしたいと思います。

【委員】

それを踏まえて、13 ページの図へ意見のあった内容を加筆できると良いと思います。

【都市計画課長】

13 ページの図は全部を網羅しているものになるので、あまり細かく表現するのは難しいかもしれません。

【委員】

例えば、生産緑地は東部より西部地域に重点があったりするので、分布を描いて、そのあたりがどのようなエリアかというのがわかるような表現を工夫できないでしょうか。

【委員長】

「3) まちの将来イメージ」は将来のまちの姿が記述されていますが、図は現状に将来を少し加えた程度に見えます。

【委員】

都営地下鉄大江戸線が延伸されて、大泉に拠点ができている部分ですね。

【都市計画課長】

全体として、現状を示していて、将来の部分は少なくなっています。どちらかというところ13 ページは概念的な部分、将来の分も落とし込んだりする、あくまでもイメージということで示したいと思います。

【委員長】

そういう目で見ると、14 から 17 ページも、少し苦しさを感じます。

【都市計画課長】

15 ページは道路ができている前提で描いています。

【委員長】

例えば、14 ページの図は、現状の生産緑地の分布が示されていますが、将来こうなりたいという絵が必要だと思います。

【委員】

図に凡例が無いというのが気になります。14、15、17 ページの図は、表しているのが「みどり」なのでまだわかりますが、16 ページの図はよくわかりません。

【都市計画課長】

今回は入っていませんが、凡例を記載します。16 ページの図は、青い点で示した小学校区くらいのエリアの中で、区民の方々が相談したり、活動できるような拠点をつくっていく、ということを意図しています。薄い赤い丸とオレンジの丸は、地域の拠点として、駅と生活拠点・地域の拠点を差別化して表現しています。この図のままではわかりませんので、後背のコミュニティを形成するような地域の拠点をどう表現するかなど、少し整理をしたいと思います。

【委員】

委員でも分かり難さを感じるので、区民の立場で考えると、将来の、何か明確に出るような絵ができないものかと思います。一つ一つ分けなくても良いので、みどりも含めて、区民が一目でわかるようなものが出来ないでしょうか。

【委員長】

難しいですが、この 13 ページの都市構造イメージを、もう少しブラッシュアップすることになるかと思います。

【都市計画課長】

もう少し絵を緻密に描いていくか、若しくは、本当に概念として描いていくかだと思います。

【委員】

区の考え方としては、今の特色を更に伸ばしていく、というイメージでいるのかなという気がしています。西部地域に農地が多いのは当たり前の話であり、今更、東部地域に農地を作るのは無理なので、逆に特色をもう少しはっきりさせればよいのではないかと、というのが私の意見です。今のままかもしれませんが、将来もそこまで変わらないと思います。

それよりも、全体的に「動」のイメージより、「静」のイメージが強く、区外から人が集まってくるような表現が足りない気がします。外から来て練馬区を見てもらわないと、素晴らしさがわかりませんので、もう少し、周りからも練馬区に寄れるような仕組みがこの中にあると良いと思います。

【都市計画課長】

書ききれていない部分もありますが、16 ページのイメージ3では商店街のところで、練馬ブランドを扱う特色ある店舗が並び、区内外から多くの人々が集まっているという記載や、駅周辺に人が集まって、駅前空間でイベント等を行っているイメージを描いていますので、要素としてはイメージ3のところで出していきたいと考えています。イメージ4の公園のところでも、特色ある公園で他にはない、区外からも人を呼び寄せるような視点を入れたいと思っています。もう一つは、イメージ1の農地が練馬区の特色であるということがありますので、農の体験を少し入れています。この辺りをもう少し広げた書き方をした方が良いかもしれません。

【委員】

もっとわかりやすく、もっと人を集められるような表現があったら面白いのかなという気がします。そういう中で練馬区である程度、高齢の方々が活躍できる場が出てきたりするのかなと思います。

【委員長】

確かに少し内向きかもしれません。「区内外から多くの人々が集まっています」と、イメージ3の中に一言だけあるのですが、区の中のことばかり考えるだけではなくて、交流みたいなことも大事かもしれません。

【委員】

みどりに関しても、どう活かすかということが絵になっている方が良いと思います。イメージ4に、個人的なふれあいとしてのみどりは伝わってくるのですが、どのようにプラスして活かしていくか、どのように人がここに集っていくのかというイメージが出せた方が良いと思います。

【委員】

みどりのあり方とは、どのようなイメージですか。

【委員】

民の場として、パブリックな場を使っているイメージです。

【委員長】

文字で表現した方が良いですか。それとも、絵で描いた方が良いでしょうか。

【委員】

絵で描くとこれまでの公園の使い方を越えていない絵になってしまいます。

【委員】

これはこれで悪くはないし、素晴らしいと思いますが、ものすごくよくあるイメージです。

【委員】

みどりを使いこなしているという、能動的に動いているアクションが見られる方が良いです。

【委員】

もう少し、可能性を感じさせるイメージや文言があると良いですね。イメージ4は、特にそれが少ないような気がします。

【委員長】

2つとも森と公園ですが、上の表現に多様な活動とありますので、伝統芸能として、太鼓などの区民の多様な活動が表現されていた方が良いでしょう。

【都市計画課長】

このフィールドの中で活動しているような、みどりを守っているような、そういったイメージも、絵だけでなく、文言でもあった方が良いでしょう。

【委員長】

13ページの図は、14～17ページの4つ図をグレードアップさせて昇華させるような形で書き直す、もしくは書き加えることはできますか。

【都市計画課長】

概念的な部分でいえばこれが精いっぱい、あとは、絵を描きこんでいくような形になり、作業的には難しいのではないかと思います。もっとイメージしやすいものが必要かもしれません。

【委員長】

要するに何を書いたら良いかということですので、このイメージの1～4に端的に書いてあることが、うまく表現できれば良いわけです。

【委員】

駅の周辺が高くなっていたり、色がついているのはどういう意味ですか。

【都市計画課長】

拠点なので交通、鉄道、人など色々なものが集約しているイメージを、色の濃淡と高さで図示しています。練馬駅が一番高くなり、隣の中村橋駅や富士見台駅はもう少し高さが低くなります。練馬駅はバスの往来も多いですし、人も

多く集まります。一方、中村橋駅や富士見台駅は、地域の人々の利用が中心となります。

この図示の仕方は、東京都が使っているものを参考にしています。練馬駅以外にも中核となる駅が必要であるということで、例えば、西武新宿線沿線や光が丘駅、石神井公園駅あたりのイメージです。

【委員長】

描き方もありますが、散らばっている感じで、関係性がわからないように感じます。

【技監】

散らばっているものと、そうでないものがあるが、駅についてはこのような図示の仕方ではないと表現は難しいのかなと思っています。そして、道路とみどりのネットワークは、ただ単に大きな公園と道路の点線だけが入っていて、大きなみどりが、道路によって繋がっているということ、もう少しわかりやすくするというのはあるかと思います。

【委員】

水系も必要です。

【技監】

水はなかなか繋げきれないので、道路のみどりでネットワークをつなぐのが良いと思います。

【委員】

河川沿いの道路を整備する考えはないのですか。

【技監】

15 ページの図をベースに模式図化して、もう少しみどりの大きなかたまりと道路が繋がっているようなことがわかりやすいようにすれば良いかなと思いました。もうひとつは、農地が全体に散らばっているようになっていますが、14 ページと同じように、農地が一定の区域に重点的に散らばっていることを表現する方法もあるかと思います。

【委員長】

全体に生産緑地が散らばって示されていますが、これだと地図になってしまいます。重点は、大事な所はここだということが伝わるように、地図にならないようにデフォルメして、このエリアを重点に、生産緑地なり農の風景を守ります、ということと、それを含めてみどりが全体的にネットワークになっていて、その中で、住宅地がみどりを享受できるという構造が分かれば良いと思い

ます。

【委員】

デフォルメして、もっと強調していくという方がわかりやすいと思います。

【委員長】

そうしますと、各ページに一つずつイメージごとに地図がはまっているのは一度外して、良い図ができれば別ですが、そうでない場合は、15 ページのようなみどり系の図と、16 ページを中心とした拠点の図を組み合わせ、全体をフォローするということを検討していただけますか。

【副委員長】

それぞれのイメージの最後は「～都市」となっているので、それぞれ 14～17 ページの図が、全部、区全体になっていますが、もう少しスケールアップしないと表現できないと思います。例えば、14 ページで言うと、もっと西側の方にフォーカスして、それにふさわしい図にするとか、15 ページだと、これはみどりの図というよりはむしろ道路ネットワークの話をしたいのだから、「幹線道路があって、囲まれている中の生活道路がすごく良くなっています」みたいな街区モデルみたいな図が無いと、上で言っている事が全然伝わりません。全体については 13 ページで示し、あとは、テーマ毎、イメージ毎にそれが伝わるスケールの図に変えた方が良いのではないかと、というのが私の意見です。

【委員長】

練馬区全体を 1 枚に入れると、「イメージ図」というより「地図」になってしまうので、その方が良いかもしれません。

【技監】

13 ページの都市構造イメージは、もう少し全体が伝わるように努力すると、各イメージについては、練馬区全体の図ではなく、スケールアップした概念図を入れるということによろしいですか。

【委員長】

道路ネットワークは全体で 1 枚が良いと思いますが。

【副委員長】

生活道路も表現しなければいけません。

【技監】

幹線道路が出来れば、住区内の生活道路には車が入ってこなくなることが概

念的にわかる図が必要ということですね。

【副委員長】

その通りです。

【委員】

このスケールの図、例えば生産緑地は全体があっても良いと思います。ただし、生産緑地を取り巻く住宅地のイメージがどのようなものなのかということが、この図の下のパースで全部表現しきれれば良いのですが、必ずしも十分に伝わっていないように思うので、この隣に、もう少し住宅地の空間整備のイメージがわかるようなミドルスケールの図を入れた方が良いような気がします。

【技監】

概念的なものとして、住宅地がある中で農地がこんな風に残っていて、こういう所が市民農園として使われていけばいいなというような図を入れるということですね。

【委員】

以前、みどりの検討では、実際にある土地をベースに図を加工して実際にはない場所にして、生産緑地があったり、体験農園があったり、みどりのライフスタイルがあったりというものを作成したことがあります。そのような、模式化した図があると良いと思います。

【委員長】

この真ん中の図の代わりということですか。

【委員】

真ん中の図の代わりというよりも、参考としてあった方が良いような気がします。「生産緑地がこうあって、ここが重点的なゾーンです」というのは、良いと思うのですが、では、そこでどんなまちづくりをするのかということが、その下の2つのパースだけでは全部を表現しきれないので、もう1枚くらい、ミドルスケールの図があった方が良いと思います。

【委員長】

事務局で検討をお願いします。少し気になっているのは、12 ページに東京都のランドデザインに関する記載があるのはどのような意図ですか。

【都市計画課長】

紹介する意味で載せています。

【委員】

「都の政策ではこのように位置づけされている」ということで、第1章で紹介すれば良いのではないかと思います。

【委員長】

ここにあると、これを具現化したという風にとられます。もし、資料として載せているということなら、少し扱いが大きいような気がします。第1章に載せる、あるいは最後に載せればよいと思います。

【委員】

グリーンインフラがイメージ4に入っていますが、どちらかというイメージ2の方で機能的な部分として位置付けて、それ以外の生活に近いみどりをイメージ4に書いた方が、よりみどりの機能的なネットワークづくりと、みどりの生活の中での活かし方がきちんと分かれるかなと思いました。そのため、グリーンインフラは、どちらかというイメージ4よりも2の方が良いと思います。それと、生物生態系という言葉が出てきますが、あまり一般的な言葉ではないと思いますので、「身近な自然と生態系」等に変えた方が良いと思います。

【都市計画課長】

全体的なネットワーク的な大きいみどりについてはイメージ2で扱い、イメージ4では、みどりの質についての記載とします。

【委員長】

他にいかがでしょうか。

【参与】

話が戻りますが、第2章について、小見出しをつけて読み物にするというのは、なかなか大変な作業になると思います。

【委員長】

第1章と第3章の繋ぎですが、各委員の発言から自動的に第3章が出てきたということにはなりません。第2章の中身がこういうものであれば、この位置でなくて後ろに置いた方が良いと思います。

【参与】

そのような整理の仕方で構わないということで理解しました。

【委員】

逆に委員の発言でなくても良いのですが、これからの都市を考える上で重要な視点・ポイントというものがないと、後に繋がりません。それを簡潔に、委

員の発言とは別に記載しても良いと思います。

【参与】

多少なら、結果的には取捨選択的になるかもしれませんが、読みやすいよう視点は整理して、意見は意見として全体が漏れないようにまとめるようにします。

【委員長】

文脈に合うように残せば良いと思います。貴重な意見であっても、この文脈に関係ないというものは残さないで、必要ならば後ろの資料編に入れるようにしてください。

【参与】

この委員会の成果を踏まえて区が作成する冊子というのが、区民向けに公表されるものとなります。そういう意味では、委員会の報告書は区民にわかりやすくとか、パンチがあるということも大事な視点ですが、それよりも委員の発言が端的に表現されていることが重要であると考えています。

【委員】

この有識者委員会の目的が何かということをも、まず、ここで共有しなければいけないと思います。有識者委員会の成果物は、必ずしも一般の人にとってわかりやすいものでなくても、役目を果たせば良いのだと思います。

【参与】

将来像についての新しい切り口を出していただければと思います。

【委員】

今日出された、例えばイメージだとか、どんなメッセージを誰に訴えたいのかというのは、事前に説明はなかったと思います。ですから、もし一般の人に訴えるのではないとすれば、この有識者委員会の成果物というのはどういう用途で、その後に区民向けには違う冊子が出る、そういう説明が事前があれば、そのための資料を作る前提に議論ができると思うのですが、その辺を説明していただきたいと思っています。

【都市計画課長】

区としては、最終的に「都市のランドデザイン」を策定し、区民に練馬区の将来像をわかりやすくお示するというのが目的です。その前段として、有識者の皆様から専門的な観点で、将来像やあり方というものをご提案いただくというのが、有識者委員会の大きな役割です。区民からの提案も踏まえ、今回4つのイメージについて、有識者委員会でお示しさせていただきました。こ

の4つのイメージを、区民にわかりやすくビジュアルで表現するということが、最終的な目的となります。有識者委員会の報告書は、区が公表する「都市のランドデザイン」に有識者委員会でいただいた専門的なご意見を活かしていくためのものという位置づけで考えています。

【委員】

結論的にはここで検討しているイメージというのは、それ自体は別に区民にわかりやすく表現する必要はないということですね。

【都市計画課長】

区民に報告書自体を公表することはないということです。

【委員長】

区民には公表するのではないのですか。

【技監】

公開とはなりませんが、積極的に区民に公表するものではないということです。区民に対して積極的に公表するのは、区が別途作成する冊子になります。

【委員】

区が作成した冊子を公表するときに、有識者委員会の意見を参考に作成しているということであれば、有識者委員会検討報告書を公表する必要性はあると思います。何の根拠もなくまとめたなら意味がないので、有識者委員会がある訳です。有識者委員会で、その主な骨格を提供することに意味があるのではないのでしょうか。

【技監】

有識者委員会から将来のイメージがどのようなものが良いかを提言していただき、区の責任でリメイクすることを考えています。リメイクという言い方が適切かどうかわかりませんが、有識者委員会で示されたイメージに対応して、ビジュアルを作ってきたところです。

【委員】

ビジュアルで表現することには異論はないのですが、有識者委員会が存在している意味をもう少し明確に説明していただいた方が良いと思います。

異なる立場から、練馬はこうあるべきではないかという意見を持ち寄って議論をし、それを区が作成するランドデザインのベースにしなければ意味がないわけです。まったく関係なく、良い所取りして作るということであれば、我々が集まる必要がないのではないかという意味です。

【技監】

委員の皆様からいただいた意見を活かしながらやってきました。リメイクするといっても、まったく違うものになるということではありません。

【委員】

ビジュアルをよりわかりやすいものにするのは良いのですが、基本的な提案の方向性は継承するという認識で良いですね。前回の委員会資料でいうと、有識者委員会からの提案が強く反映されたものになると理解しています。

【副委員長】

ビジュアルの意味ですが、14 ページからの図は大事なものになると思っています。それぞれの意味を平面的に表現できるのは、パースではなく、真ん中の図だと思うのですが、それはビジュアルではないのですか。

【技監】

先ほど、スケールアップした図を入れたほうが良いのではないかというご指摘がありました。それをリメイクして鳥瞰的な絵を入れて、この図の中をさらにスケールアップした、人の目線で見えた具体的なまちのイメージを示した絵を入れたいと考えています。

【副委員長】

平面図とパースの違いは、凡例があるかないかです。凡例があることで説明力が違ってきます。鳥瞰図も凡例のようなものがないと、説明力の点で若干気になります。

【委員】

例えば、簡単なコメントを入れるなどの方法もあると思います。

【技監】

イメージとしては、鳥瞰の部分の説明するのに、引き出し線を入れて、コメントで説明する予定です。鳥瞰図のなかで、例えば、農の風景を残すまちといったものを鳥瞰から部分的に引き出し、その詳しい説明を次のページからの4枚で説明するという構成です。

【委員】

説明のようなものがないと、グランドデザインとしての意味がないと思います。

【委員】

第2章の委員の発言のところ、一番大事な部分なのかもしれません。

【参与】

私もそのような認識で、丁寧に書く必要があると思っています。

【委員長】

ただし、これではただの議事録であって、第1章と第3章をつなぐものでないと、第2章に置く意味がありません。

【参与】

取捨選択しないと文章を作れないので、できるだけ表現するようにします。

【委員長】

第1章の課題が、第3章の答えに結び付くような整理をしてください。

【技監】

第2章の部分は体系的に整理して第3章に結び付けるべきであると思いますが、体系的に網羅したものではなくて、各委員から指摘いただいた部分になっており、抜け落ちている部分もあるかもしれません。第2章が第3章につながるように要点をまとめるとのご指摘と理解しました。

【委員】

とにかく、第1章からいきなり第3章にいかないようにしてください。

【委員長】

最初にも言いましたが、まとめないならば、後ろにもって行っていただく。

【技監】

この場で議論していないことを書くことはできないので、議論されたものから選ばせていただきます。

【委員長】

第3章の図について整理したいと思います。改めて、今日の意見を受けて、区のことを体系的に説明してください。

【技監】

13 ページの下の図については、あとの4つのイメージがわかるように、デフォルメの仕方を考えます。イメージ1については、生産緑地が分布する重点ゾーンの表示は残し、そこではどのような住宅地が望ましいかということを模式化します。イメージ2は、今後、都市計画道路が整備された全体図を入れたうえで、幹線道路ができると生活道路に車が入らなくなることを模式化したものを入れます。イメージ3についても、駅周辺の拠点にはどのようなものが入

り、駅前広場や公共施設、商店街があるということを模式化します。イメージ4は、大きな公園をピックアップして、憩える部分とアクティブな部分、場合によっては、施設を作っていくということを模式図で入れます。

【委員長】

イメージ1～4に入る図は、区全体を1枚にするだけでなく、それぞれ文字で書かれていることがわかり易くなるスケールでリライトするということですね。

【技監】

場合によっては、練馬区のこの辺りを示しているということがわかる図が入るかもしれませんが、基本的には、上の文章が分かる模式図、概念図にします。

【委員長】

そのような整理でよろしいでしょうか。あとは、委員長、副委員長一任とさせていただきますが、どのようなスケジュールになりますか。

【都市計画課長】

区が作成する冊子は、12月初旬に公表したいと考えています。方向性や、考え方は反映していますので、それをご了解いただければ、検討報告書作成の作業にもう少し時間をいただければと思います。

【技監】

12月初旬に区の家を出しますので、有識者委員会検討報告書については11月中にまとめたいと考えています。

【委員長】

文字を直すのは簡単ですが、図を直すのが大変だと思います。

【副委員長】

図というよりも、そこに書くべき文字かもしれません。

【技監】

11月末までに方向性について各委員の了承をいただければ、成果品としては多少時間をかけて、12月中にまとめたいと思います。

【委員】

第1回資料のスケジュールでは、11月末の報告をもとに、区の素案をまとめるとなっています。区の素案を出すときには、有識者委員会の提案を区民が見ることができるのが良いと思います。個別に協力もできるので、11月末に

案のままでよいので、公開できるものを作った方がよいのではないのでしょうか。

【技監】

11 月末までに有識者委員会報告書（案）のたたき台をつくり、それに基づいて、区はランドデザインの素案を策定します。有識者委員会検討報告書は、完成していないとしても、区民が見ることができるようになりたいと思います。

【委員長】

図はどうするのですか。

【委員】

そんなに難しい図を作る必要はないので、なるべく直していただければと思います。

【委員長】

こういうものは期限を切らないと進まないで、11 月末を目途に、今日の議論で出た文言と図の修正を可能な限り進めてください。委員会は開催できないと思いますので、委員長、副委員長で公表できると判断した段階でリリースできればと思います。

それでは、あまり時間がないですが、できるだけ作業していただいて、委員会の報告書として束ねて、公表できるように仕上げていくということによろしいでしょうか。それでは、そのように進めていただきたいと思います。

各委員には出来次第お送りして、特に、専門の分野についてご確認いただければと思います。

（２）今後の（仮称）都市のランドデザイン有識者委員会について

【都市計画課長】

今後の（仮称）都市のランドデザイン有識者委員会について説明

【委員長】

それでは、本日の会議はこれで終わります。ありがとうございました。

（以上）